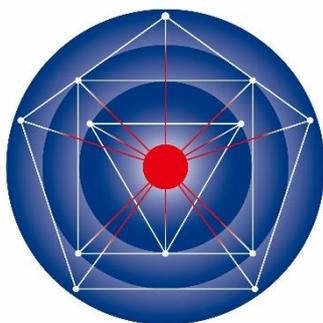


2023 年度
集中治療専門医研修施設調査報告

2024 年 5 月 16 日

命のために。生きるのそばに。



日本集中治療医学会
THE JAPANESE SOCIETY OF INTENSIVE CARE MEDICINE

一般社団法人日本集中治療医学会
ICU 機能評価委員会

目次

1 目的.....	2
2 調査対象と方法.....	2
3 結果.....	2
3.1 施設実態.....	2
3.2 病院施設の概要、他の施設認定等	3
3.3 加算病床数(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)	4
3.4 集中治療室の概要(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)	5
3.5 医師の診療体制(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数])	7
3.6 看護師の診療体制(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)	10
3.7 臨床工学技士の診療体制.....	11
3.8 薬剤師の診療体制.....	13
3.9 理学療法士の診療体制	14
3.10 作業療法士の診療体制	15
3.11 言語聴覚士の診療体制	15
3.12 管理栄養士の診療体制	16
3.13 患者動態(中央値[第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)	17
3.14 治療介入の実施数(中央値[第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)	17
3.15 重症度評価	19
3.16 アウトカム(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)	20
4 まとめ	21

1 目的

日本集中治療医学会認定集中治療専門医研修施設の実態(病床数、医師とりわけ集中治療医、メディカルスタッフなど)、診療内容、および患者転帰を明らかにする。なお、本調査は、日本集中治療医学会 ICU 機能評価委員会の事業として 2018 年から継続実施し、2019 年度より集中治療専門医研修施設は参加が必須となっている。

2 調査対象と方法

- 対象施設: 日本集中治療医学会認定集中治療専門医研修施設
- 対象施設数: 2023年4月1日時点の認定407施設より、認定を辞退したもしくは認定保留となった施設を除いた403施設を対象とした。
- 調査の一部を外部委託とした(特定非営利法人集中治療コラボレーションネットワーク)。
- 調査項目: 調査に先立ち、ICU機能評価委員内で、本年度調査項目および選択肢の選定・改変作業を行い理事会の承認を得た。
- 調査時期
 - 2023年9月11日～2023年12月20日
- 調査方法
 - 調査担当者返信票(8月9日依頼, 8月16日回答締切)と調査票(9月11日依頼, 10月11日回答締切)による2段階調査を行った。
 - 各施設の責任者ならびに調査担当者宛に電子メールで調査協力を依頼し、Webシステム内の調査票に回答してもらった。
 - Webシステムへの未ログイン施設や回答中の施設については、電子メールないしは電話連絡にて調査協力の依頼を繰り返し行った。
 - 各施設の患者関連データについては、2022年1月1日～12月31日または2022年4月1日～2023年3月31日のデータを、病床数や職員数などの施設関連データについては、2023年9月1日時点のデータを収集した。
 - 調査票データの確認作業を行い、内容に疑義があるものについては各施設に修正を依頼した。

3 結果

3.1 施設実態

3.1.1 調査対象施設: 403 施設(前年比 +28 施設)

3.1.2 主な医療保険区分: 特定集中治療室管理料 1 または 2 216 施設 (前年比 +12 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 100 施設 (前年比 +11 施設)
救命救急入院料 2 または 4 73 施設 (前年比 +4 施設)
小児特定集中治療管理料 14 施設 (前年比 +1 施設)

3.1.3 回答施設: 403 施設

3.1.4 回答率 : 100%

3.2 病院施設の概要、他の施設認定等

3.2.1 施設タイプ(403 施設)

公的病院	22.8% (92 施設)
公立大学	4.0% (16 施設)
公立病院	19.9% (80 施設)
国立大学	13.7% (55 施設)
国立病院	4.7% (19 施設)
私立大学	19.1% (77 施設)
私立病院	15.9% (64 施設)

3.2.2 各施設の病院病床数(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数])

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	619 床 [501-810]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	527 床 [422-648]
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	697 床 [520-904]
小児特定集中治療室管理料(14 施設)	368 床 [251-490]
全体(403 施設)	604 床 [477-785]

3.2.3 各施設における高機能病床[§]の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
63.0% (254 施設)	37.0% (149 施設)

§ ハイケアユニット入院管理料 1,2 もしくは脳卒中ケアユニット入院医療管理料を算定している施設

3.2.4 他の施設認定等 (403 施設)

救命救急センターのみ	6.2% (25 施設)
救急科専門医研修施設 [※] のみ	13.6% (55 施設)
救命救急センターと救急科専門医研修施設 [※]	32.8% (132 施設)
該当なし	47.4% (191 施設)

※ 日本専門医機構認定

3.2.5 重症患者対応体制強化加算を算定している割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	25.5%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	16.0%
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	20.5%
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0%
全体(403 施設)	21.3%

3.2.6 病棟薬剤業務実施加算2を算定している割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	72.2%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	59.0%
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	76.7%
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	28.6%
全体(403 施設)	68.2%

3.2.7 早期栄養介入管理加算を算定している割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	75.5%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	61.0%
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	49.3%
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	21.4%
全体 (403 施設)	65.3%

3.2.8 早期離床・リハビリテーション加算を算定している割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	87.5%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	72.0%
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	63.0%
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	50.0%
全体 (403 施設)	77.9%

3.2.9 重症患者初期支援充実加算を算定している割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	56.0%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	50.0%
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	45.2%
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	28.6%
全体 (403 施設)	51.6%

3.2.10 院内迅速対応システム(rapid response system, RRS)

	RRS があり、 ICU スタッフ*が RRT, CCOT または MET に関 与している	RRS はあるが、 ICU スタッフ*は RRT, CCOT または MET に関 与していない	RRS はない
特定集中治療管理料 1,2 (216 施設)	83.3% (180 施設)	9.7% (21 施設)	6.9% (15 施設)
特定集中治療管理料 3,4 (100 施設)	63.0% (63 施設)	13.0% (13 施設)	24.0% (24 施設)
救命救急入院料 2,4 (73 施設)	76.7% (56 施設)	12.3% (9 施設)	11.0% (8 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	71.4% (10 施設)	14.3% (2 施設)	14.3% (2 施設)
全体 (403 施設)	76.7% (309 施設)	11.2% (45 施設)	12.2% (49 施設)

※ 当該集中治療部に所属する医師もしくは看護師

RRT, rapid response team, CCOT, critical care outreach team, MET, medical emergency team,

3.3 算定病床数(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.3.1 算定病床数(研修施設の主な医療保険区分の算定病床に限定)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	10 床 [8-14]、前年比±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	8 床 [6-10]、前年比±0

救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	10 床 [8-12]、前年比 ±0
小児特定集中治療室管理料(14 施設)	12 床 [8-16]、前年比 ±0
全体(403 施設)	10 床 [8-12]、前年比 ±0

3.3.2 病院 100 床あたりの算定病床数(研修施設の主な医療保険区分の算定病床に限定)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	1.66 床 [1.25-2.14]、前年比 +0.01
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	1.60 床 [1.20-2.18]、前年比 ±0
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	1.59 床 [1.00-2.22]、前年比 ±0
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	3.78 床 [1.79-4.33]、前年比 -0.22

※ 「(研修施設の算定病床数/病院病床数)×100 床」より算出

3.3.3 病院 100 床あたりの特定入院料算定病床数

研修施設内にある算定病床 [§] 数 (403 施設)	1.65 床 [1.20-2.23]、前年比 -0.03
病院内にある算定病床 [§] 数 (403 施設)	2.34 床 [1.68-3.32]、前年比 +0.05
病院内にある算定病床 [§] 数と高機能病床数 ^{§§} (403 施設)	5.55 床 [4.00-7.38]、前年比 +0.31

※ 「(病床数/病院病床数)×100 床」より算出

§ 特定集中治療室管理料 1-4、救命救急入院料 2 また 4、小児特定集中治療室管理料を算定している病床

§§ ハイケアユニット入院管理料 1,2 もしくは脳卒中ケアユニット入院医療管理料を算定している病床

3.4 集中治療室の概要(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.4.1 当該集中治療室の責任者が集中治療専門医である割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	88.9%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	85.0%
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	79.5%
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	92.9%
全体(403 施設)	86.4%

3.4.2 当該集中治療室の個室割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	40.0%	[25.0-62.5]、前年比 +2.5
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	33.3%	[20.0-50.0]、前年比 -3.3
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	37.5%	[22.2-50.0]、前年比 -2.5
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	30.6%	[25.0-41.5]、前年比 +5.6
全体(403 施設)	37.5%	[25.0-58.3]、前年比 +2.5

3.4.3 当該集中治療室における陰圧病床の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
84.9% (342 施設)	15.1% (61 施設)

3.4.4 当該集中治療室における陰圧病床数(施設中央値)と割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	2 床 [1-3]、16.7% [9.1-30.0]
-----------------------------	----------------------------

特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	1 床 [1-2]、19.1% [10.0-32.5]
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	2 床 [1-4]、20.0% [9.0-40.0]
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	3 床 [1-5]、25.0% [11.5-32.8]
全体 (403 施設)	2 床 [1-3]、16.7% [9.5-30.0]

3.4.5 集中治療室の総延べ床面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	65.0 m ² /床 [47.6-81.3]、前年比 +1.6
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	47.5 m ² /床 [38.2-60.5]、前年比 +1.4
救命救急入院料 2 または 4 (66 施設)	46.3 m ² /床 [32.2-73.5]、前年比 -1.0
小児特定集中治療室管理料 (12 施設)	73.2 m ² /床 [38.5-96.6]、前年比 -2.8
全体 (369 施設)	56.0 m ² /床 [41.7-78.9]、前年比 +0.7

3.4.6 個室病床の平均面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (204 施設)	21.8 m ² /床 [20.6-24.1]、前年比 +0.1
特定集中治療室管理料 3 または 4 (93 施設)	19.1 m ² /床 [16.2-21.5]、前年比 +0.5
救命救急入院料 2 または 4 (62 施設)	18.7 m ² /床 [16.4-20.6]、前年比 -0.1
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	20.1 m ² /床 [17.1-21.5]、前年比 -0.4
全体 (373 施設)	21.0 m ² /床 [18.5-23.0]、前年比 ±0

3.4.7 オープン病床の平均面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (182 施設)	21.5 m ² /床 [20.4-23.7]、前年比 +0.1
特定集中治療室管理料 3 または 4 (87 施設)	18.3 m ² /床 [16.2-23.6]、前年比 +0.3
救命救急入院料 2 または 4 (59 施設)	18.1 m ² /床 [16.1-22.3]、前年比 -0.4
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	20.3 m ² /床 [17.3-23.8]、前年比 -0.5
全体 (342 施設)	20.8 m ² /床 [18.7-23.4]、前年比 ±0

3.4.8 集中治療室の器材室の面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (201 施設)	3.1 m ² /床 [1.9-5.0]、前年比 ±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (83 施設)	2.8 m ² /床 [1.6-4.4]、前年比 +0.3
救命救急入院料 2 または 4 (62 施設)	3.1 m ² /床 [1.7-5.1]、前年比 +0.3
小児特定集中治療室管理料 (11 施設)	1.8 m ² /床 [0.9-3.7]、前年比 ±0
全体 (357 施設)	3.0 m ² /床 [1.7-5.0]、前年比 ±0

3.4.9 主な運用形態 (上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

Emergency ICU 兼 Medical-Surgical ICU	Medical-Surgical ICU	Emergency ICU	Surgical ICU	Cardiac care unit	Pediatric ICU	Medical ICU	Stroke care unit, Neurological ICU
44.9% (181 施設)	25.1% (101 施設)	14.6% (59 施設)	7.2% (29 施設)	1.7% (7 施設)	5.5% (22 施設)	0.7% (3 施設)	0.3% (1 施設)

3.4.10 運用体制 (上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	Closed ICU	Mandatory critical care consultation	Elective critical care consultation	No critical care physician

特定集中治療管理料 1,2 (216 施設)	19.4% (-1.7%) (42 施設)	60.2% (+12.8%) (130 施設)	20.4% (-8.0%) (44 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)
特定集中治療管理料 3,4 (100 施設)	8.0% (+1.3%) (8 施設)	59.0% (+13.8%) (59 施設)	33.0% (-14.3%) (33 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)
救命救急入院料 2,4 (73 施設)	38.4% (-2.2%) (28 施設)	37.0% (+2.2%) (27 施設)	24.7% (+0.1%) (18 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	50.0% (-11.5%) (7 施設)	50.0% (+11.5%) (7 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)
全体 (403 施設)	21.1% (-1.6%) (85 施設)	55.3% (+4.1%) (223 施設)	23.6% (-2.5%) (95 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)

※ (±0%)は前年比

Closed ICU : 集中治療医が治療方針をすべて決定する

Mandatory critical care consultation : 集中治療医は全患者に介入する

Elective critical care consultation : 主治医から依頼があった患者のみ集中治療医は介入する

No critical care physician : 集中治療医がいない

3.4.11 重症部門システム導入の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
67.3% (271 施設)	32.8% (132 施設)

3.4.12 重症部門システムのメーカー

フィリップス 38.7% (105 施設)

日本光電 22.1% (60 施設)

富士通 17.0% (46 施設)

フクダ電子 8.1% (22 施設)

富士フィルム 7.7% (21 施設)

その他 6.3% (17 施設)

3.4.13 重症部門システムとJIPADの連携の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
37.6% (102 施設)	62.4% (169 施設)

3.5 医師の診療体制(中央値 [第1四分位数-第3四分位数])

3.5.1 集中治療室に勤務する専従医数および専任医数の年次推移(上段:全施設の合計、下段:各施設の中央値)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
専従医	1743 人/355 施設 3 人[1-7]	1845 人/366 施設 3 人[1-7]	1944 人/375 施設 3 人[2-7]	2185 人/403 施設 3 人[1-7]
専任医	1451 人/349 施設 1 人[0-5]	1257 人/362 施設 1 人[0-5]	1197 人/374 施設 1 人[0-4]	1204 人/403 施設 1 人[0-4]

専従医+専任医	2855 人/332 施設 7 人[3-11]	3058 人/362 施設 6 人[3-12]	3134 人/374 施設 6 人[3-12]	3389 人/403 施設 6 人[3-12]
---------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

※ 専従医:業務時間の80%以上かつ週4日以上32時間以上を集中治療室で勤務

※ 専任医:専従医に該当しないが、業務時間の50%以上かつ週20時間以上を集中治療室で勤務
(いずれも手術室での麻酔業務、救急外来での診療は含めない)

※ 「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は除外した

3.5.2 集中治療室に勤務する専従医および専任医が所有する専門医資格(該当者の人数)

	集中治療専門医	救急科専門医	麻酔科専門医	小児科専門医	左記以外
専従医 (2185 人 /403 施設)	853 人	851 人	493 人	177 人	699 人
専任医 (1204 人 /403 施設)	264 人	353 人	231 人	20 人	536 人

※ 複数回答あり

※ 括弧内は総人数/回答施設数

3.5.3 集中治療室に勤務する専従医および専任医の運用体制別の総人数と集中治療専門医の人数(各施設の中央値)

		Closed ICU (85 施設)	Mandatory critical care consultation (223 施設)	Elective critical care consultation (95 施設)	全体 (403 施設)
専従医	総人数	8 人[3-13]	3 人[2-6]	2 人[1-3]	3 人[1-7]
	集中治療 専門医	2 人[1-4]	2 人[1-3]	1 人[1-2]	2 人[1-3]
専任医	総人数	1 人[0-4]	1 人[0-4]	1 人[0-4]	1 人[0-4]
	集中治療 専門医	0 人[0-1]	0 人[0-1]	0 人[0-1]	0 人[0-1]
専従医+専任医	総人数	11 人[8-17]	5 人[3-11]	4 人[2-8]	6 人[3-12]
	集中治療 専門医	3 人[2-5]	2 人[2-3]	2 人[1-2]	2 人[1-3]

3.5.4 集中治療室に専従または専任勤務する集中治療専門医数の年次推移(上段:全施設の合計, 下段:各施設の中央値)

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
専従医	708 人/354 施設 1 人[1-3]	750 人/366 施設 2 人[1-3]	804 人/375 施設 2 人[1-3]	853 人/403 施設 2 人[1-3]

専任医	232人/333施設 0人[0-1]	261人/366施設 0人[0-1]	212人/374施設 0人[0-1]	264人/403施設 0人[0-1]
専従医+専任医	864人/331施設 2人[1-3]	1011人/366施設 2人[1-3]	1016人/374施設 2人[1-4]	1117人/403施設 2人[1-3]

3.5.5 各時間帯に勤務する医療保険区分別医師数(各施設の中央値)

	平日			土日祝日		
	午前10時	午後8時	午前4時	午前10時	午後8時	午前4時
特定集中治療室管理料 1または2 (216施設)	3.0人 [2.0-5.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-2.0]	2.0人 [1.0-3.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-2.0]
特定集中治療室管理料 3または4 (100施設)	2.0人 [1.0-3.0]	1.0人 [1.0-1.0]	1.0人 [1.0-1.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-1.0]	1.0人 [1.0-1.0]
救命救急入院料 2または4 (73施設)	4.0人 [2.0-6.0]	2.0人 [1.0-2.0]	1.8人 [1.0-2.0]	2.0人 [2.0-4.0]	1.8人 [1.0-2.0]	1.6人 [1.0-2.0]
小児特定集中治療室 管理料 (14施設)	5.0人 [4.3-7.8]	2.0人 [2.0-3.0]	2.0人 [1.0-3.0]	3.0人 [2.9-4.0]	2.0人 [1.0-3.0]	2.0人 [1.0-3.0]
全体 (403施設)	3.0人 [2.0-5.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-2.0]	2.0人 [1.0-3.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-2.0]

※ 初期研修医は除く

3.5.6 各時間帯に勤務する運用体制別医師数(各施設の中央値)

	平日			土日祝日		
	午前10時	午後8時	午前4時	午前10時	午後8時	午前4時
Closed (85施設)	5.0人 [3.0-7.0]	2.0人 [1.0-3.0]	2.0人 [1.0-2.7]	2.8人 [2.0-4.0]	2.0人 [1.0-2.0]	2.0人 [1.0-2.0]
Mandatory (223施設)	3.0人 [2.0-4.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-1.9]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-1.7]	1.0人 [1.0-1.0]
Elective (95施設)	2.0人 [2.0-3.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-1.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-1.0]	1.0人 [1.0-1.0]
全体 (403施設)	3.0人 [2.0-5.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-2.0]	2.0人 [1.0-3.0]	1.0人 [1.0-2.0]	1.0人 [1.0-2.0]

※ 初期研修医は除く

3.5.7 医師勤務体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

2交代 (8-17,17-8等)	2交代 (12時間毎)	1交代 (24時間勤務)	その他
77.4% (312施設)	5.2% (21施設)	10.7% (43施設)	6.7% (27施設)

3.5.8 24時間を超える勤務体制※(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
19.6% (79施設)	80.4% (324施設)

※ 例:日勤→夜勤→日勤

3.6 看護師の診療体制(中央値 [第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比)

3.6.1 看護師の他部署との兼任の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
17.1% (69 施設)	82.9% (334 施設)

3.6.2 専門・認定看護師の人数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	0 人	1 人	2 人	3 人以上
急性・重症患者看護専門看護師 (400 施設)	71.8% (287 施設)	23.3% (93 施設)	4.8% (19 施設)	0.3% (1 施設)
集中ケア認定看護師 (400 施設)	46.8% (187 施設)	40.8% (163 施設)	10.5% (42 施設)	2.0% (8 施設)
救急看護認定看護師 (400 施設)	73.3% (293 施設)	19.3% (77 施設)	5.8% (23 施設)	1.3% (7 施設)
クリティカルケア認定看護師 (400 施設)	69.3% (277 施設)	23.8% (95 施設)	5.8% (23 施設)	1.3% (5 施設)
小児救急看護認定看護師 (400 施設)	94.0% (376 施設)	5.8% (23 施設)	0.3% (1 施設)	0.0% (0 施設)
小児プライマリケア認定看護師 (400 施設)	98.8% (395 施設)	1.3% (5 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)
集中治療認証看護師 (400 施設)	84.0% (336 施設)	12.3% (49 施設)	10.3% (8 施設)	8.0% (7 施設)
特定行為研修 8 区分修了看護師 (400 施設)	64.5% (258 施設)	17.3% (69 施設)	10.3% (41 施設)	8.0% (32 施設)

3.6.3 専門・認定看護師数の合計※人数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上
5.5% (22 施設)	23.8% (95 施設)	24.0% (96 施設)	17.0% (68 施設)	14.8% (59 施設)	15.0% (60 施設)

※ 3.6.2 における専門・認定看護師(いずれかのデータが欠損している施設は除外)

3.6.4 算定病床 2 床当たりの看護師配置人数¹⁾

特定集中治療室管理料 1 または 2 (195 施設)	1.42 人 [1.25-1.58]、前年比 +0.01
特定集中治療室管理料 3 または 4 (86 施設)	1.34 人 [1.21-1.54]、前年比 +0.18
救命救急入院料 2 または 4 (61 施設)	1.40 人 [1.23-1.65]、前年比 -0.03
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	1.47 人 [1.28-1.59]、前年比 +0.10
全体(355 施設)	1.39 人 [1.24-1.59]、前年比 +0.02

1) 施設毎の「看護師の 8 月延べ勤務時間数の合計²⁾ / (算定病床数 × 31 日 × 24 時間) × 2 床」より算出

2) 入院基本料等の施設基準に係わる届出添付書類(様式 9)の 4.勤務実績表から抜粋

3.6.5 算定病床 2 床当たりの各時間帯に勤務する看護師数

	平日			土日祝日		
	午前 10 時	午後 8 時	午前 4 時	午前 10 時	午後 8 時	午前 4 時
特定集中治療室管理料 1 または 2 (215 施設)	2.00 人 [1.67-2.40]	1.00 人 [1.00-1.17]	1.00 人 [1.00-1.11]	1.50 人 [1.25-1.83]	1.00 人 [1.00-1.09]	1.00 人 [1.00-1.08]

特定集中治療室管理料 3または4 (100 施設)	2.00 人 [1.54-2.43]	1.00 人 [1.00-1.16]	1.00 人 [1.00-1.10]	1.33 人 [1.11-1.67]	1.00 人 [1.00-1.07]	1.00 人 [1.00-1.00]
救命救急入院料 2または4 (71 施設)	2.00 人 [1.60-2.40]	1.00 人 [1.00-1.25]	1.00 人 [1.00-1.20]	1.50 人 [1.25-2.00]	1.00 人 [1.00-1.20]	1.00 人 [1.00-1.17]
小児特定集中治療室 管理料 (14 施設)	2.31 人 [1.85-2.49]	1.00 人 [1.00-1.09]	1.00 人 [1.00-1.00]	1.92 人 [1.50-2.06]	1.00 人 [1.00-1.00]	1.00 人 [1.00-1.00]

※ 施設毎の「(各時間帯で勤務するおおよその看護師数/算定病床数) × 2床」より算出

3.6.6 当該集中治療室の看護師の月平均夜勤時間

特定集中治療室管理料 1 または 2 (195 施設)	81.5 時間/月 [72.0-90.4]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (87 施設)	82.3 時間/月 [72.9-91.1]
救命救急入院料 2 または 4 (60 施設)	78.8 時間/月 [69.9-90.6]
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	73.6 時間/月 [69.4-79.5]
全体 (356 施設)	80.5 時間/月 [72.0-90.4]

3.6.7 看護師の勤務体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

2交代 (夜勤1回あたり 16時間以上)	2交代 (夜勤1回あたり 16時間未満)	3交代	その他
41.7% (168 施設)	33.5% (135 施設)	21.8% (88 施設)	3.0% (12 施設)

3.7 臨床工学技士の診療体制(中央値 [第1四分位数-第3四分位数])

3.7.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	52.8% (114 施設)	24.5% (53 施設)	22.7% (49 施設)	0.0% (0 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	34.0% (34 施設)	13.0% (13 施設)	52.0% (52 施設)	1.0% (1 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	28.8% (21 施設)	26.0% (19 施設)	42.5% (31 施設)	2.7% (2 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	28.6% (4 施設)	14.3% (2 施設)	50.0% (7 施設)	7.1% (1 施設)
全体 (403 施設)	42.9% (173 施設)	21.6% (87 施設)	34.5% (139 施設)	1.0% (4 施設)

※ 専従: 1日における業務時間の80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任: 1日における業務時間の50%以上80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任: 1日における業務時間の50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.7.2 平日・日勤に専従勤務している臨床工学技士の人数¹⁾

特定集中治療室管理料 1 または 2 (111 施設)	1.0 人 [1.0-2.0]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (34 施設)	1.0 人 [1.0-2.0]
救命救急入院料 2 または 4 (21 施設)	2.0 人 [1.0-2.0]
小児特定集中治療室管理料 (4 施設)	3.0 人 [1.0-5.0]

全体(170 施設)

1.0 人 [1.0-2.0]

┆ 3.7.1 で専従体制のある施設に限定

3.7.3 平日・夜勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	19.9% (43 施設)	20.8% (45 施設)	58.3% (126 施設)	0.9% (2 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	6.0% (6 施設)	14.0% (14 施設)	55.0% (55 施設)	25.0% (25 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	13.7% (10 施設)	8.2% (6 施設)	68.5% (50 施設)	9.6% (7 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	7.1% (1 施設)	7.1% (1 施設)	57.1% (8 施設)	28.6% (4 施設)
全体 (403 施設)	14.9% (60 施設)	16.4% (66 施設)	59.3% (239 施設)	9.4% (38 施設)

3.7.4 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	23.6% (51 施設)	20.4% (44 施設)	55.6% (120 施設)	0.5% (1 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	14.0% (14 施設)	11.0% (11 施設)	56.0% (56 施設)	19.0% (19 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	17.8% (13 施設)	9.6% (7 施設)	65.8% (48 施設)	6.9% (5 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	7.1% (1 施設)	0.0% (0 施設)	57.1% (8 施設)	35.7% (5 施設)
全体 (403 施設)	19.6% (79 施設)	15.4% (62 施設)	57.6% (232 施設)	7.4% (30 施設)

3.7.5 土日祝日・日勤に専従勤務している臨床工学技士の人数¹⁾

特定集中治療室管理料 1 または 2 (51 施設) 1.0 人 [1.0-1.0]

特定集中治療室管理料 3 または 4 (14 施設) 1.0 人 [1.0-1.0]

救命救急入院料 2 または 4 (13 施設) 1.0 人 [1.0-2.0]

小児特定集中治療室管理料 (1 施設) 1.0 人

全体(79 施設) 1.0 人 [1.0-1.0]

┆ 3.7.4 で専従体制のある施設に限定

3.7.6 土日祝日・夜勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	17.6% (38 施設)	19.9% (43 施設)	61.6% (133 施設)	0.9% (2 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	6.0% (6 施設)	14.0% (14 施設)	55.0% (55 施設)	25.0% (25 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	13.7% (10 施設)	6.9% (5 施設)	68.5% (50 施設)	11.0% (8 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	7.1% (1 施設)	0.0% (0 施設)	57.1% (8 施設)	35.7% (5 施設)

全体 (403 施設)	13.6% (55 施設)	15.4% (62 施設)	61.0% (246 施設)	9.9% (40 施設)
----------------	------------------	------------------	-------------------	-----------------

3.7.7 当該集中治療室の診療に参与している認定集中治療関連臨床工学技士(日本臨床工学技士会)の人数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	1.0 人 [0.0-2.0]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	0.0 人 [0.0-1.0]
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	1.0 人 [0.0-2.0]
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0 人 [0.0-3.8]
全体 (403 施設)	1.0 人 [0.0-2.0]

3.8 薬剤師の診療体制

3.8.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	31.5% (68 施設)	39.8% (86 施設)	24.1% (52 施設)	4.6% (10 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	19.0% (19 施設)	42.0% (42 施設)	35.0% (35 施設)	4.0% (4 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	32.9% (24 施設)	42.5% (31 施設)	23.3% (17 施設)	1.4% (1 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	28.6% (4 施設)	21.4% (3 施設)	35.7% (5 施設)	14.3% (2 施設)
全体 (403 施設)	28.5% (115 施設)	40.2% (162 施設)	27.0% (109 施設)	4.2% (17 施設)

※ 専従: 1日における業務時間の80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任: 1日における業務時間の50%以上80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任: 1日における業務時間の50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.8.2 平日・夜勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	1.4% (3 施設)	2.8% (6 施設)	37.5% (81 施設)	58.3% (126 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	0.0% (0 施設)	1.0% (1 施設)	45.0% (45 施設)	54.0% (54 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	1.4% (1 施設)	1.4% (1 施設)	46.6% (34 施設)	50.7% (37 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	35.7% (5 施設)	64.3% (9 施設)
全体 (403 施設)	1.0% (4 施設)	2.0% (8 施設)	40.9% (165 施設)	56.1% (226 施設)

3.8.3 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	1.4% (3 施設)	4.6% (10 施設)	43.1% (93 施設)	50.9% (110 施設)

特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	3.0% (3 施設)	3.0% (3 施設)	50.0% (50 施設)	44.0% (44 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	4.1% (3 施設)	4.1% (3 施設)	53.4% (39 施設)	38.4% (28 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	7.1% (1 施設)	28.6% (4 施設)	64.3% (9 施設)
全体 (403 施設)	2.2% (9 施設)	4.2% (17 施設)	46.2% (186 施設)	47.4% (191 施設)

3.8.4 土日祝日・夜勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	0.5% (1 施設)	3.2% (7 施設)	38.4% (83 施設)	57.9% (125 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	1.0% (1 施設)	1.0% (1 施設)	42.0% (42 施設)	56.0% (56 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	1.4% (1 施設)	1.4% (1 施設)	45.2% (33 施設)	52.1% (38 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	35.7% (5 施設)	64.3% (9 施設)
全体 (403 施設)	0.7% (3 施設)	2.2% (9 施設)	40.4% (163 施設)	56.6% (228 施設)

3.9 理学療法士の診療体制

3.9.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	25.5% (55 施設)	35.2% (76 施設)	38.9% (84 施設)	0.5% (1 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	20.0% (20 施設)	29.0% (29 施設)	46.0% (46 施設)	5.0% (5 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	17.8% (13 施設)	31.5% (23 施設)	45.2% (33 施設)	5.5% (4 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	28.6% (4 施設)	64.3% (9 施設)	7.1% (1 施設)
全体 (403 施設)	21.8% (88 施設)	32.8% (132 施設)	42.7% (172 施設)	2.7% (11 施設)

※ 専従: 1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任: 1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任: 1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.9.2 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	11.1% (24 施設)	18.1% (39 施設)	34.3% (74 施設)	36.6% (79 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	10.0% (10 施設)	21.0% (21 施設)	37.0% (37 施設)	32.0% (32 施設)

救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	5.5% (4 施設)	21.9% (16 施設)	32.9% (24 施設)	39.7% (29 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	42.9% (6 施設)	57.1% (8 施設)
全体 (403 施設)	9.4% (38 施設)	18.9% (76 施設)	35.0% (141 施設)	36.7% (148 施設)

3.10 作業療法士の診療体制

3.10.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	2.3% (5 施設)	6.9% (15 施設)	55.1% (119 施設)	35.7% (77 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	1.0% (1 施設)	9.0% (9 施設)	61.0% (61 施設)	29.0% (29 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	1.4% (1 施設)	5.5% (4 施設)	82.2% (60 施設)	11.0% (8 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	71.4% (10 施設)	28.6% (4 施設)
全体 (403 施設)	1.7% (7 施設)	6.9% (28 施設)	62.0% (250 施設)	29.3% (118 施設)

※ 専従: 1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任: 1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任: 1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.10.2 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	0.9% (2 施設)	3.7% (8 施設)	32.4% (70 施設)	63.0% (136 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	1.0% (1 施設)	5.0% (5 施設)	37.0% (37 施設)	57.0% (57 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	1.4% (1 施設)	1.4% (1 施設)	50.7% (37 施設)	46.6% (34 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	21.4% (3 施設)	78.6% (11 施設)
全体 (403 施設)	1.0% (4 施設)	3.5% (14 施設)	36.5% (147 施設)	59.1% (238 施設)

3.11 言語聴覚士の診療体制

3.11.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	0.0% (0 施設)	7.9% (17 施設)	64.4% (139 施設)	27.8% (60 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	0.0% (0 施設)	5.0% (5 施設)	69.0% (69 施設)	26.0% (26 施設)

救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	0.0% (0 施設)	1.5% (1 施設)	80.8% (59 施設)	17.8% (13 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	71.4% (10 施設)	28.6% (4 施設)
全体 (403 施設)	0.0% (0 施設)	5.7% (23 施設)	68.7% (277 施設)	25.6% (103 施設)

※ 専従：1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任：1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任：1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.11.2 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	0.0% (0 施設)	3.7% (8 施設)	32.4% (70 施設)	63.9% (138 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	0.0% (0 施設)	2.0% (2 施設)	36.0% (36 施設)	62.0% (62 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	0.0% (0 施設)	1.4% (1 施設)	45.2% (33 施設)	53.4% (39 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	21.4% (3 施設)	78.6% (11 施設)
全体 (403 施設)	0.0% (0 施設)	2.7% (11 施設)	35.2% (142 施設)	62.0% (250 施設)

3.12 管理栄養士の診療体制

3.12.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	14.4% (31 施設)	37.0% (80 施設)	36.1% (78 施設)	12.5% (27 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	10.0% (10 施設)	28.0% (28 施設)	47.0% (47 施設)	14.0% (15 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	5.5% (4 施設)	19.2% (14 施設)	56.2% (41 施設)	19.2% (14 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	71.4% (10 施設)	28.6% (4 施設)
全体 (403 施設)	11.2% (45 施設)	30.3% (122 施設)	43.7% (176 施設)	14.9% (60 施設)

※ 専従：1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任：1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任：1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.12.2 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (216 施設)	3.2% (7 施設)	8.3% (18 施設)	25.0% (54 施設)	63.4% (137 施設)

特定集中治療室管理料 3 または 4 (100 施設)	0.0% (0 施設)	6.0% (6 施設)	34.0% (34 施設)	60.0% (60 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	1.4% (1 施設)	2.7% (2 施設)	37.0% (27 施設)	58.9% (43 施設)
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	21.4% (3 施設)	78.6% (11 施設)
全体 (403 施設)	2.0% (8 施設)	6.5% (26 施設)	29.3% (118 施設)	62.3% (251 施設)

3.13 患者動態(中央値[第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.13.1 算定病床あたりの年間総入室患者数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (215 施設)	74.0 人/床	[55.8-90.7]、前年比 + 2.1
特定集中治療室管理料 3 または 4 (99 施設)	76.0 人/床	[56.5-92.4]、前年比 + 6.9
救命救急入院料 2 または 4 (73 施設)	61.1 人/床	[46.8-84.5]、前年比 + 1.1
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	39.1 人/床	[32.0-47.9]、前年比 + 0.6
全体(401 施設)	70.4 人/床	[52.1-88.5]、前年比 + 2.3

※ 施設毎の「(総入室患者数/算定病床数)」より算出

3.13.2 算定病床あたりの年間延べ在室日数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (215 施設)	308 日/床	[262-353]、前年比 +16
特定集中治療室管理料 3 または 4 (98 施設)	274 日/床	[238-330]、前年比 - 2
救命救急入院料 2 または 4 (71 施設)	277 日/床	[246-326]、前年比 + 2
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	276 日/床	[221-319]、前年比 +13
全体(398 施設)	291 日/床	[251-342]、前年比 + 3

※ 在室日数は (退室日 - 入室日) + 1 日 で計算

※ 施設毎の「(総在室日数/算定病床数)」より算出

3.13.3 年間あたりの広範囲熱傷患者数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人以上
69.1%	9.0%	6.7%	4.6%	1.3%	2.3%	1.5%	1.8%	3.8%
(270 施設)	(35 施設)	(26 施設)	(18 施設)	(5 施設)	(9 施設)	(6 施設)	(7 施設)	(15 施設)

全体(391 施設)

0 人[0-1]

3.13.4 管理料や入院料が非算定となった日数の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (156 施設)	10.2% [5.9-18.6]、前年比 -2.2
特定集中治療室管理料 3 または 4 (62 施設)	11.4% [5.0-22.5]、前年比 +0.1
救命救急入院料 2 または 4 (50 施設)	17.6% [9.5-23.7]、前年比 -3.8
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	35.8% [19.1-53.8]、前年比 +7.6
全体(276 施設)	12.0% [6.2-21.5]、前年比 -1.4

※ 施設毎の「管理料非算定となった年間延べ在室日数/年間延べ在室日数」より算出

3.14 治療の詳細(中央値[第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.14.1 人工呼吸器使用患者(NPPV は含めない)の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	人工呼吸器装着患者数
366 施設 (前年比 +21)	4,128 床 (前年比 +77)	102,317 人 (前年比 +3,580)

3.14.2 人工呼吸器使用患者(NPPV は含めない)の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (200 施設)	37.1% [25.0-49.6]、前年比 +0.1
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	30.7% [22.5-45.9]、前年比 -1.4
救命救急入院料 2 または 4 (64 施設)	36.9% [30.1-50.1]、前年比 -5.5
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	57.8% [45.5-71.2]、前年比 -4.2
全体 (365 施設)	36.4% [25.4-49.5]、前年比 -1.1

※ 施設毎の「人工呼吸器使用患者数(NPPV 含めず)／年間入室の総患者数」より算出

3.14.3 血液浄化療法実施患者の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	血液浄化療法実施患者数
372 施設 (前年比 +18)	4,175 床 (前年比 +43)	27,903 人 (前年比 +3,262)

3.14.4 血液浄化法実施患者(CHDF,HD,PMX-HP,PE など)の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	9.0% [6.0-13.4]、前年比 +1.0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設)	7.4% [3.8-10.3]、前年比 +0.5
救命救急入院料 2 または 4 (65 施設)	7.8% [4.7-11.6]、前年比 +0.9
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	1.8% [1.1-3.0]、前年比 +0.2
全体 (371 施設)	8.2% [5.0-11.8]、前年比 +1.0

※ 施設毎の「血液浄化法実施患者数／年間入室の総患者数」より算出

3.14.5 ECMO(V-A,V-V)実施患者の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	ECMO 実施患者数
379 施設 (前年比 +17)	4,255 床 (前年比 +61)	5,478 人 (前年比 +66)

3.14.6 ECMO(V-A,V-V)実施患者数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (206 施設)	12 人 [6.0-22.8]、前年比 ±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (94 施設)	6 人 [2.0-12.0]、前年比 ±0
救命救急入院料 2 または 4 (65 施設)	15 人 [6.0-26.0]、前年比 -3
小児特定集中治療室管理料 (14 施設)	6 人 [4.3-8.5]、前年比 ±0
全体 (379 施設)	10 人 [4.5-20.5]、前年比 ±0

3.14.7 補助人工心臓使用患者数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人以上
89.5% (334 施設)	2.7% (10 施設)	2.4% (9 施設)	1.1% (4 施設)	0.0% (0 施設)	0.3% (1 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	4.0% (15 施設)

全体 (373 施設)

0 人[0-0] (最大値 85 人)

3.14.8 頭蓋内圧(ICP)測定実施患者数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (179 施設)	0 人 [0-2.0]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設)	0 人 [0-1.0]

救命救急入院料 2 または 4 (61 施設)	7 人 [0-15.0]
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0 人 [0-3.0]
全体 (342 施設)	0 人 [0-3.0]

3.14.9 IMPELLA 測定実施患者数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (201 施設)	1 人 [0-9]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (97 施設)	0 人 [0-4]
救命救急入院料 2 または 4 (63 施設)	2 人 [0-8.5]
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0 人 [0-0]
全体 (374 施設)	0 人 [0-7]

3.15 重症度と予後評価

3.15.1 重症度評価実施率の年次推移 (上段: 該当施設の割合、下段: 回答施設数)

運用体制	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
Closed ICU	85.7% 91 施設	83.1% 89 施設	85.9% 85 施設	89.4% 85 施設
Mandatory critical care consultation	79.9% 179 施設	76.1% 155 施設	84.8% 191 施設	86.6% 223 施設
Elective critical care consultation	69.4% 85 施設	75.6% 119 施設	77.3% 97 施設	79.0% 95 施設
No critical care physician	0% 0 施設	0% 0 施設	0% 0 施設	0% 0 施設
全体	78.9% 355 施設	77.7% 363 施設	83.1% 373 施設	85.4% 403 施設

3.15.2 使用している主な重症度評価指標 ※ 複数選択可

SOFA	55.6% (224/403 施設)
APACHE II	55.6% (224/403 施設)
APACHE III	13.2% (53/403 施設)
APACHE IV	1.2% (5/403 施設)
SAPS II	13.6% (55/403 施設)
SAPS III	0.2% (1/403 施設)
PIM2	8.2% (33/403 施設)
PIM3	9.9% (40/403 施設)
p SOFA	24.6% (99/403 施設)
JROD	1.7% (7/403 施設)
その他	1.0% (4/403 施設)

3.15.3 APACHE II スコア (中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (124 施設)	15 [11-20]、前年比 ±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (27 施設)	13 [10-19]、前年比 -1

救命救急入院料 2 または 4 (32 施設)	18.5 [13-25]、前年比 +0.5
小児特定集中治療室管理料 (2 施設)	9 [5.5-14]、前年比 -4
全体(185 施設)	15 [11-20.5]、前年比 ±0

3.15.4 SOFA スコア(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (140 施設)	4 [2-8]、前年比 ±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (49 施設)	4 [1-7]、前年比 +1
救命救急入院料 2 または 4 (25 施設)	5 [3-8.5]、前年比 -0.5
小児特定集中治療室管理料 (2 施設)	4 [2-7.5] 前年比 ±0
全体(216 施設)	4 [2-7]、前年比 ±0

3.16 アウトカム(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.16.1 年間 ICU 内死亡率

特定集中治療室管理料 1 または 2 (176 施設)	4.3% [2.2-6.1]、前年比 +0.4
特定集中治療室管理料 3 または 4 (66 施設)	4.2% [3.2-6.2]、前年比 -0.2
救命救急入院料 2 または 4 (53 施設)	8.9% [6.1-13.4]、前年比 +0.3
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	2.1% [1.7-2.7]、前年比 +0.2
全体(308 施設)	4.6% [2.6-7.8]、前年比 +0.4

3.16.2 年間病院内死亡率

特定集中治療室管理料 1 または 2 (117 施設)	9.1% [6.2-15.0]、前年比 +1.3
特定集中治療室管理料 3 または 4 (47 施設)	8.4% [5.4-11.2]、前年比 +0.9
救命救急入院料 2 または 4 (37 施設)	15.1% [9.8-22.3]、前年比 +0.9
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	3.0% [2.4-3.1]、前年比 +0.3
全体(209 施設)	9.5% [5.7-15.1]、前年比 +0.9

3.16.3 予測死亡率に用いた重症度評価指標

APACHE II	34.0%	(137 施設)、前年比 +0.9%
APACHE III	7.9%	(32 施設)、前年比 -0.4%
APACHE IV	0.7%	(3 施設)、前年比 +0.4%
PIM2	0.7%	(3 施設)、前年比 -0.1%
PIM3	5.0%	(20 施設)、前年比 -0.9%
SAPS II	0.0%	(0 施設)、前年比 -1.1%
SAPS III	0.3%	(1 施設)、前年比 ±0
算出なし	51.4%	(207 施設)、前年比 +1.1%

3.16.4 予測死亡率の年間平均値

特定集中治療室管理料 1 または 2 (104 施設)	21.0% [15.6-28.8]、前年比 +0.7
特定集中治療室管理料 3 または 4 (25 施設)	18.6% [12.0-23.6]、前年比 -2.5
救命救急入院料 2 または 4 (19 施設)	31.3% [24.8-38.0]、前年比 -3.2
小児特定集中治療室管理料 (12 施設)	3.3% [2.9-4.3]、前年比 +0.2
全体(160 施設)	21.0% [14.4-29.0]、前年比 -0.2

3.16.5 標準化死亡比

特定集中治療室管理料 1 または 2 (84 施設)	0.44 [0.34-0.58]、前年比 +0.03
特定集中治療室管理料 3 または 4 (21 施設)	0.46 [0.39-0.54]、前年比 +0.03
救命救急入院料 2 または 4 (13 施設)	0.39 [0.35-0.58]、前年比 -0.09
小児特定集中治療室管理料 (8 施設)	0.85 [0.73-1.07]、前年比 +0.02
全体 (126 施設)	0.46 [0.35-0.60]、前年比 +0.03

4 まとめ

- * 集中治療専門医研修施設は 403 施設で(前年度より+28)、全施設から回答を受領した(回収率 100%)。
- * 医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 1,2 および特定集中治療室管理料 3,4 を算定する施設が増加した(前年度より+12 施設, +11 施設)。
- * 研修施設における集中治療室病床数は、病院 100 病床あたり 1.65 床 [1.20-2.23]で、前年度より 0.03 床減少していた。病院全体の集中治療室病床数は、病院 100 病床あたり 2.34 床 [1.68-3.32]であり、高機能病床も加えると、病院 100 病床あたり 5.55 床 [4.00-7.37]であった。
- * 当該集中治療室責任者の 86.4%は、集中治療専門医であった。
- * 集中治療室における個室病床の割合は 37.5% [25.0-58.3]で前年度より 2.5%増加していた。医療保険区分別では特定集中治療室管理料 1,2 で最も高かった。
- * 集中治療室の総延べ床面積(1 病床あたり)は 56.0m²/床 [41.7-78.9]で、医療保険区分別では小児特定集中治療室管理料が最も広がった。
- * 集中治療室の器材室の面積(1 病床あたり)は 3.0m²/床 [1.7-5.0]で、前年度と同等であった。
- * 集中治療室に関連する加算の算定状況は、早期離床・リハビリテーション加算が 77.9%、早期栄養介入管理加算が 65.3%と比較的高値だが、重症患者対応体制強化加算は 21.3%と低値であった。
- * 運用体制は 2022 年度と比べ、Mandatory critical care consultation が増加し(+4.1%)、Elective critical care consultation は減少した(-2.5%)。Closed ICU は 2020 年度から減少傾向で、今年度は 21.1%であった(前年比-1.6%)。
- * 集中治療室に勤務する専従医の総数は 2185 人(403 施設)で、2019 年度以降は増加傾向が続いている(前年比+241 人)。専任医の総数は 1204 人(403 施設)で、2020 年度をピークに減少に転じていたが、今年度はわずかに増加した(前年比+7 人)。
- * 集中治療室に専従または専任勤務する集中治療専門医の総数は 1117 人と増加した(前年比 +101 人、内訳:専従医+49 人、専任医+52)。1 施設あたり 2 人で、運用体制別では Closed ICU が 3 人、Mandatory critical care consultation が 2 人、Elective critical care consultation が 2 人と、2022 年度と同等であった。
- * 専従医における救急科専門医は 851 人(前年比 +99 人)と増加していた。専任医においても救急科専門医は 353 人(前年比 +124 人)と増加していたが、麻酔科専門医は 231 人(前年比 -119 人)と大幅に減少していた。
- * 看護師の 8 月延べ勤務時間数の合計から算出した、算定病床 2 床当たりの看護師配置人数は 1.39 人/2 床で、前年度よりわずかに増加した。医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 3,4(前年比+0.18 人/2 床)と小児特定集中治療室管理料(前年比+0.10 人/2 床)で増加しており、いずれの医療保険区分別での差は縮小傾向にあった。

- * 看護師の月平均夜勤時間の中央値は 80.5 時間/月で、小児特定集中治療室管理料が 73.6 時間/月で最も少なく、特定集中治療室管理料 1-4 はいずれも 80 時間/月を上回っていた。
- * 臨床工学技士の平日日勤における診療体制は、専従(42.9%)が最多で、兼任(34.5%)、専任(21.6%)の順であった。平日夜勤では、兼任(59.3%)、専任(16.4%)、専従(14.9%)の順であった。
- * 薬剤師の平日日勤における診療体制は、専任(40.2%)が最多で、専従(28.5%)、兼任(27.0%)の順であった。平日夜勤では、関与無し(56.1%)が半数を占め、兼任(40.9%)、専任(2.0%)、専従(1.0%)の順であった。
- * 理学療法士の平日日勤における診療体制は、兼任(42.7%)が最多で、専任(32.8%)、専従(21.8%)の順で、関与無しは 2.7%のみであった。
- * 作業療法士の平日日勤における診療体制は、兼任(62.0%)が最多で、関与無しは 29.3%であった。
- * 言語聴覚士の平日日勤における診療体制は、兼任(68.7%)が最多で、関与無しは 25.6%であった。
- * 管理栄養士の平日日勤における診療体制は、兼任(43.7%)が最多で、専任(30.3%)、専従(11.2%)の順で、関与無しは 14.9%であった。
- * 薬剤師については、専従している施設が増加傾向にあった。また管理栄養士については、専従および専任のいずれも増加傾向にあった。
- * 算定病床あたりの年間総入室患者数は 70.4 人/床で、前年比 +2.1 人/床だった。特定集中治療室管理料 3,4(前年比+6.9)、特定集中治療室管理料 1,2(前年比+2.1)、救命救急入院料 2,4(前年比+1.1)、小児特定集中治療室管理料(前年比+0.6)と、いずれの医療保険区分でも増加していた。
- * 加算病床あたりの年間延べ在室日数は 291 日/床で(前年比 +3 日/床)、2020 年度をピークに減少傾向となっていたが、2023 年度はわずかに増加した。特定集中治療室管理料 1,2 と小児特定集中治療室管理料では増加していたが、その他の医療保険区分では減少していた。
- * 入院管理料の非算定日数の割合は 12.0%で、小児特定集中治療室管理料が 35.8%、救命救急入院料 2,4 が 21.4%と高値であった。小児特定集中治療室管理料では、前年比 7.6%と他の医療保険区分と比較して大きく増加していた。
- * 人工呼吸器(NPPV 含めず)を使用した患者数は 102,317 人/366 施設で、入室患者の 36.4%であった。医療保険区分別では、小児特定集中治療室管理料が 57.8%と高値であった。
- * 重症度評価の実施率は 85.4%(前年比 +2.3%)と増加していたが、予測死亡率の算出率は 48.6%(前年比 -1.1%)と減少していた。
- * ICU 内死亡率の算出率は 77.7%(前年比 +0.8%)でわずかに増加していたが、病院内死亡率の算出率は 54.1%(前年比 -3.7%)で低下していた。
- * 病院内死亡率と予測死亡率から算出した標準化死亡比は 2022 年度の 0.43 から 0.46 に増加していた。